

2018

インシュアランス
ファクトブック

損保ジャパン日本興亜総合研究所(株)／訳

読者の皆様へ

保険者とは予期せぬ事態を予測し、それに備える方法を知る者でなければなりません。

頻繁に過去を振り返りを行うことは、将来への道筋を明るく照らす手段となります。2017年の異常災害からは、我々の生活や社会のあらゆる側面においてレジリエンスを確保することがいかに重要であるかが分かります。レジリエントな社会は、災害の被害からいち早く復旧することができ、より強靱に備えることができます。企業も家庭も同じように、自身の資産を守る重要な手段として、リスク軽減に価値を見出し始めています。彼らは、あらゆる異常災害から立ち直るための計画に不可欠な存在である保険会社と共に、それを実現しようとしています。それゆえ「2018 インシュアランス ファクトブック」では、経済に占める保険業界の重要性を説明し、不測の事態に備え、またそこから復旧するための信頼すべきパートナーとして保険業界が存在しているのだということを明らかにすることにしました。

保険業界の基幹資料集である「2018 インシュアランス ファクトブック」は、初めての完全デジタル版となっています。本年は、主要国における生命保険、損害保険のそれぞれについて収入保険料 TOP10 の大手社のデータを盛り込むなど、国際的な統計をさらに充実させ、オピオイド鎮痛剤の使用に関する問題やサイバー犯罪に関する情報も充実させました。今回のファクトブックでは、検索しやすく、ユーザーフレンドリーな PDF 版をご提供し、米国保険情報協会のウェブサイト (www.iii.org) と併用して頂くことを意図しています。ウェブサイトでは、消費者、研究者、政策立案者、企業のそれぞれの立場の方に有用な記事、出版物、そして最新の調査結果が見つかることと思います。

創刊から 60 年以上が経ちましたが、ファクトブックではこれまで、保険業界の動向を多分にご理解頂くため、最新のトレンドや統計などの詳細な情報を報道関係者、企業、規制当局、政策立案者、研究者の皆さまにお届けして参りました。

今回も従前どおり、以下の項目について価値ある情報をお届けいたします：

- ・世界および米国の異常災害
- ・損害保険および生命保険の業績と投資動向
- ・自動車保険および住宅所有者保険に対する個人支出
- ・異常災害、自動車事故、住宅所有者保険に関わる事故、犯罪被害、労働災害を含む主要種目の損害状況
- ・各州の自動車保険法

米国保険情報協会では、ファクトブックの発行や当協会の専門家、スポークスパーソンによるリサーチやレポートの公表を通じた客観的かつタイムリーな情報提供により、引き続き社会に貢献して参ります。是非、当協会の [Facebook](https://www.facebook.com/iiiorg)、ツイッター [@iiiorg](https://twitter.com/iiiorg)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/iiiorg) などのソーシャルメディア、または [Youtube](https://www.youtube.com/channel/UC...) のチャンネルを通じて、当協会との繋がりを持って頂きたいと思っております。

例年どおり、業界統計収集にご尽力いただき、また、データ使用を快く承諾していただいた団体やコンサルタントをはじめとした皆様に感謝いたします。また、新規会員の皆様に暖かくお迎えしたいと思います。



米国保険情報協会

会長

Sean Kevelighan

米国保険情報協会発行の「2018インシュアランス ファクトブック」は、保険関連の問題に関する主要な情報発信、分析および照会のための機関である米国保険情報協会が刊行している。「ファクトブック」は、数多くの情報源から集められたデータを含んでいる。こうした情報源は、様々な方法でデータを定義し収集しており、さらにそのデータの洗い替えを常に行っているため、同種のデータ間での相違が生じ得る。

©2018米国保険情報協会 ISBN 978-0-932387-79-0

目次

保険業界の概観	V
第1章 世界の保険市場	1
保険料	1
再保険	10
主要グループ	12
国際販売	14
キャプティブおよびその他のリスクファイナンス手法	15
マイクロインシュアランスおよび新興国市場	17
第2章 米国保険業界、全部門	20
保険料	20
主要グループ	22
健康保険	23
雇用およびその他の経済的貢献	24
M&A (合併・買収)	26
州別会社数	30
州別保険料税	31
第3章 募集	32
損害保険	32
生命保険	34
年金	35
第4章 退職後保障	36
概観	36
個人退職口座 (IRA)	39
401(k)	40
ミューチュアルファンド	40
年金	41
第5章 生命保険業界の財務データ	44
財務成績	44
投資	46
支払金	47
種目別保険料	48
主要グループ	53
第6章 損害保険業界の財務データ	55
財務成績	55
投資	62
サープラスライン	64
集中度	65
再保険	66
州別保険料	67
州別発生損害額	68
支払保証基金	69

第7章 米国損害保険の種目別状況	71
種目別保険料.....	71
自動車保険:保険料.....	78
自動車保険:コスト/支出額.....	81
自動車保険:支払保険金	86
自動車保険:高リスク市場	87
自動車保険:法律	91
住宅所有者保険:保険料	105
住宅所有者保険:高リスク市場	106
住宅所有者保険:コスト/支出額.....	111
住宅所有者保険:支払保険金.....	114
洪水保険	118
地震保険	122
企業種目	124
第8章 損害	138
大規模異常災害:世界.....	138
大規模異常災害:米国.....	142
ハリケーン、冬の嵐、洪水、竜巻、地震、テロリズム、原子力事故、雹災、原野火災	145
火災.....	165
犯罪:放火.....	170
犯罪:財産.....	171
犯罪:サイバー盗難と個人情報盗難.....	172
自動車:事故.....	179
自動車:盗難.....	188
レクリエーション.....	190
航空機	194
就業中の損害.....	197
家庭内事故.....	200
死因.....	201
第9章 コストに影響を及ぼす要因	204
財とサービスの費用	204
詐欺.....	207
訴訟問題	210
付録	
米国保険情報協会の刊行物等.....	217
米国保険情報協会加盟会社.....	218
米国保険情報協会のスタッフ.....	220

保険業界の概観

- S&P Global Market Intelligence 社によれば、2016 年における米国保険業界の正味収入保険料は 1.1 兆ドル、内訳は生命保険会社が 53%、損害保険会社が 47%であった。
- 損害保険分野は、主に自動車保険、住宅所有者保険、企業保険などで構成される。2016 年の損害保険分野の正味収入保険料は 5,337 億ドルであった。
- 生命保険分野は、年金と生命保険などで構成される。2016 年の生命保険分野の正味収入保険料は 5,977 億ドルであった。
- 健康保険分野は通常独立した種目として認識されている。健康保険分野には、民間の健康保険会社や政府プログラムが含まれる。また、損害保険会社や生命保険会社も健康保険を引受けている。
- 2016 年における属領を含む米国の保険会社数は 5,977 社であった。全米保険庁長官会議によれば、内訳は、損害保険会社 2,538 社、生命保険・年金会社 872 社、健康保険会社 858 社、共済保険組合 85 社、権原保険会社 55 社、リスク保有グループ 247 社、その他 1,314 社であった。
- 米国経済分析局によれば、2016 年、保険会社および関連事業は 5,077 億ドルと、米国の国内総生産（GDP）の 2.7%を占めた。
- 米国労働省によれば、2016 年における米国保険業界の雇用は 260 万人であった。このうち 150 万人は保険会社勤務であり、内訳は生命・健康保険会社 81 万 1,900 人、損害保険会社 64 万 8,200 人、再保険会社 1 万 6,000 人となっている。残りの 110 万人の勤務先は、保険代理店、ブローカーおよびその他の保険関連企業であった。
- S&P Global Market Intelligence 社によれば、2016 年における損害保険会社の現金・運用資産は、1 兆 5,900 億ドルであった。また、生命保険会社の現金・運用資産は 3 兆 8,900 億ドルであった。損害保険会社・生命保険会社を合わせた現金・運用資産の合計は 5 兆 4,800 億ドルであり、これら資産の大半は債券であった（損害保険会社資産の 61%、生命保険会社資産の 74%）。
- 米国商務省によれば、2016 年、損害保険会社および生命保険会社は保険料税 205 億ドルを支払った。これは米国居住者 1 人当たり 63 ドルに相当する。
- Verisk Analytics 社のプロパティ・クレーム・サービス部門によれば、2016 年、損害保険会社は異常災害による財物損害として 217 億ドルを契約者に支払っている。2015 年には 152 億ドルであった。異常災害の件数は、2016 年は 42 件、2015 年は 39 件であった。

米国損害保険、生命保険の保険料：
2016 年
(単位：億ドル)



■ 生命保険	52.8%	5,977
■ 損害保険	47.2%	5,337

出典：S&P Global Market Intelligence社を情報源とする全米保険庁長官会議 (NAIC) データ、米国保険情報協会

保険業界における雇用：2007年～2016年（年平均、単位：千人）

年	保険会社				保険代理店・ブローカー および関連サービス			保険 業界全体
	元受保険会社 ¹		再保険	合計	保険代理店・ ブローカー	その他 保険関連 ³	合計	
	生命・ 医療保険 ²	損害保険						
2007	787.1	647.0	763,766	1,461.1	677.8	252.7	930.5	2,391.6
2008	800.8	646.7	105,891	1,475.4	671.6	258.1	929.6	2,405.1
2009	802.8	632.9	175,737	1,463.2	653.3	254.2	907.4	2,370.6
2010	804.1	614.3	105,685	1,445.2	642.3	253.1	895.5	2,340.6
2011	788.9	611.6	80,402	1,426.1	649.2	261.1	910.3	2,336.4
2012	811.3	599.5	116,538	1,436.4	659.6	272.3	931.8	2,368.3
2013	813.2	593.7	40,189	1,433.1	672.3	283.5	955.8	2,388.9
2014	829.0	594.7	55,402	1,448.7	720.0	297.1	1,017.1	2,465.8
2015	851.1	599.7	65,637	1,475.9	762.4	306.2	1,068.6	2,544.5
2016	811.9	648.2	16,352	1,485.1	776.9	321.2	1,098.1	2,583.1

¹ 主として保険の元受を行う企業。

² 年金、生命保険、医療健康保険の引き受けに従事する企業を含む。

³ クレーム・アジャスター、保険基金の第三者管理機関、アドバイザーおよび保険料率算定サービス等の関連サービス従事者。

出典：米国労働省労働統計局